

AIGジャパンH

大阪代協

保険業法改正と今後の検査のあり方

オープンセミナーVOL.2を開催



満員の参加者で溢れる会場

大阪代協北摂東支部および北摂西支部は、4月20日午後3時から、豊中市の千里朝日阪急ビル14Fで、業法改正シリーズオープンセミナー(VOL.2)「保険業法改正と今後の検査のあり方」を開催した。セミナーには会員など84名(会員50名、非会員33名、他11名)が出席した。

お客様が代理店選ぶ時代 より専門的、高度な説明能力を

セミナーに先立ち、大阪代協の野志副会長が挨拶に立ち「業法が改正されて2年がたとうとしており、今秋ごろから本格的に代理店検査が始まるという噂を聞いている。前回は代理店側から見た業法改正、今回は行政から見た業法改正を見てみる。セミナーでは、近畿財務局理財部金融監督第四課の保険監督室長の前田泰之氏が「保険業法改正と今後の検査のあり方」と題し講演を行った。



前田氏

前田氏は、保険代理店に対するヒアリング結果について説明。意向把握・確認業務に係る実務上の創意工夫の事例や保険代理店の規模

や業務の特性に応じた体制整備状況についてヒアリングを行い、改正保険業法の施行に伴う保険代理店における対応状況等に大きな混乱などはなかったことを説明。また、経営管理や業務の適切性(保険募集業務の管理)において、見つけた不備内容等に対しては何らかの記録に残すことの必要性を指摘し、立ち入り検査が入った時の貴重な資料になり、以降対応等の検証材料にもなるだろうと話した。保険代理店のあり方として、「少子高齢化によ

近畿財務局の前田室長が講演

り、伝統的な国内保険市場の縮小が予想される中、収入保険料の量的拡大を前提とした現在の保険会社のビジネスモデルは持続できない可能性がある。若者の自動車離れ等で自動車保険は伸びてはいかない。サイバー空間やAI等の台頭により今までに無かったリスクが出てくるなどオーダーメイドを含めた新分野の保険が登場する可能性がある。SNS(比較サイト)の充実により販売チャネルも変化してくるであろう」と説明した。その中で、「お客様の保険に対する知識が増え、お客様が代理店を選んでいく時代になる。当然、より専門的、より高度な説明能力が求められるであろう」と強調した。最後に同氏は、保険募

集人の高齢化問題についても言及し、AIの導入やネット販売の拡大により代理店数が減少する中で、高齢者でも高度な説明ができる優秀な人材の確保や新卒者からも就職先として選んでもらえる、また、喜んでもらえる業界を作り上げ、皆さんがお客様から選ばれたい代理店になってほしいと重ねて強調し、参加者に確保や新卒者からも就職先として選んでもらえる、また、喜んでもらえる業界を作り上げ、皆さんがお客様から選ばれたい代理店になってほしいと重ねて強調し、参加者に